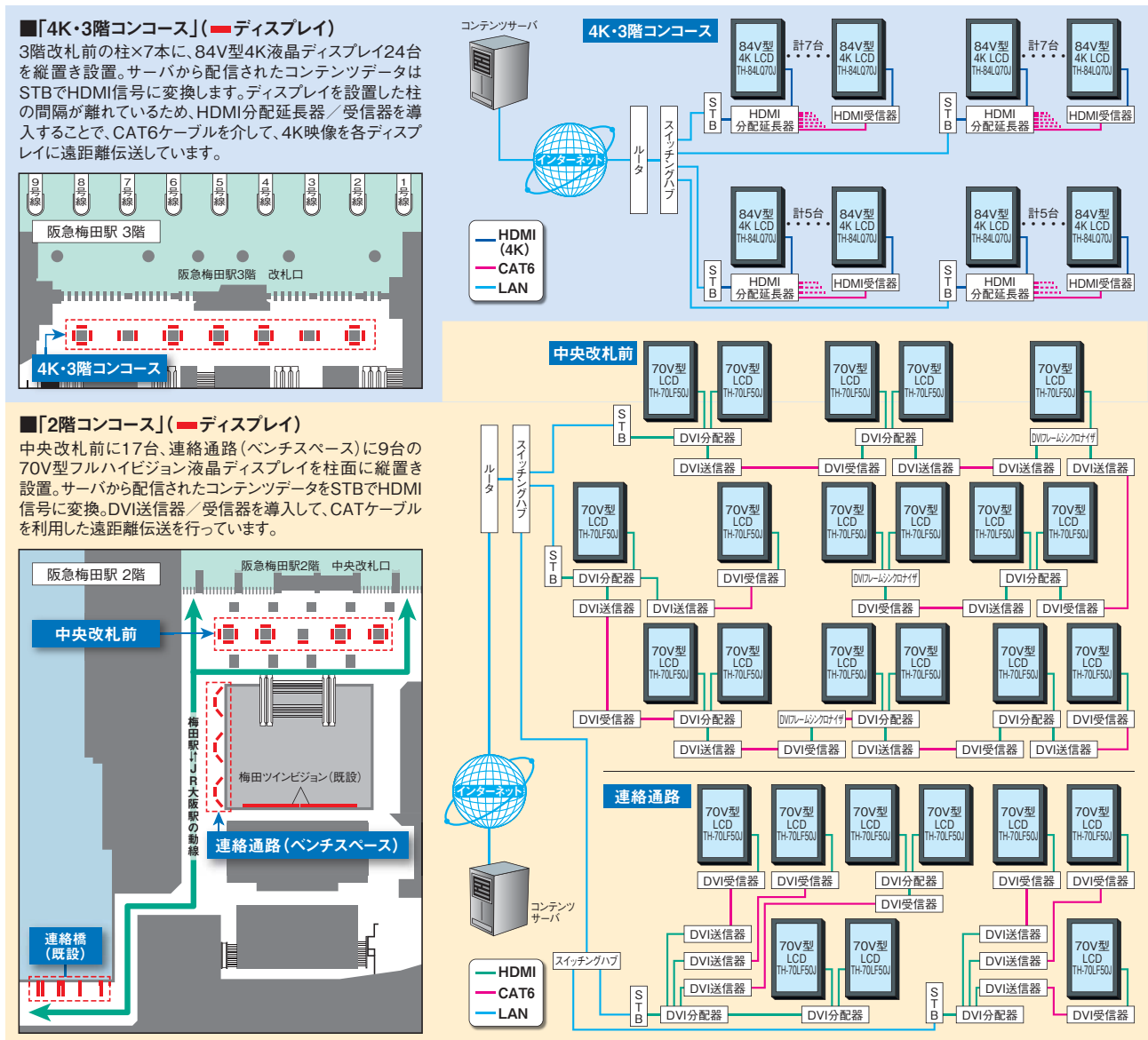


システムの紹介

●フルデジタルのコンテンツ配信システムを活用し、大画面高画質映像の表示に対応。

「4K・3階コンコース」「2階コンコース」は、阪急電鉄様のクラウド型デジタルサイネージシステムに接続。クライアントから入稿された広告コンテンツは外部サーバに保存され、放映スケジュールにあわせて、インターネットを経由して配信。コンテンツ配信からディスプレイ入力までをフルデジタルで行うことで、ノイズの混入や画質劣化を抑えて、高画質映像の遠距離伝送を実現しています。

■阪急電鉄様 阪急デジタルサイネージ「4K・3階コンコース」「2階コンコース」システム概略図



導入を終えて

今回、取材にご協力いただきました

阪急電鉄株式会社
 都市交通事業本部 都市交通計画部
 広告担当 上永 直人 様(写真右)

株式会社阪急アドエージェンシー
 経営統括本部 交通媒体部
 福本 智之 様(写真左)



●駅利用客の主要動線をカバーする広告媒体を構築。

3階コンコースに設置された4K液晶ディスプレイの鮮明で緻密な映像は、駅ご利用の旅客及び広告主から好評を得ています。また2階コンコースでは、中央改札から連絡通路、連絡橋まで、連続したディスプレイの設置で、必ず利用客の目にとまることから、訴求力に富んだ広告媒体として評価されています。

梅田駅利用客のうち約9割が、3階改札と2階中央改札を利用していることから、阪急電鉄 上永様は「今回の導入で、梅田駅利用客のほとんどにアプローチできるサイネージを設定できました。最初の導入からおよそ3年が経過して『阪急デジタルサイネージ』の媒体効果が高まっており、今後はさらに実績を重ね、一層魅力的な広告媒体にしていきます。」と感想をいただきました。